

## 沖縄県地図の授業での活用例（地理的分野）

沖縄県長嶺中学校 金城 房子

### 1 沖縄県の位置について考える

(1) 導入部分での活用（地図帳：帝国書院『中学校社会科地図（初訂版）』）

	教師の活動	生徒の活動	留意点
導入	① 地図帳のp.63を見て沖縄本島・周辺の島々や他の資料・グラフを見てください。 ② 何に気づきましたか。発表しましょう。	・東京よりも短時間で台湾に行ける。 ・東京と同じ時間で韓国に行ける。 ・中国に近い。 ・沖縄県には離島が多く離島を合わせると距離は東京と和歌山くらいある。	・地図をしっかりと見させて考えさせる。 ・地図から何がわかるかつかませる。

(2) 展開での活用

- ・導入部分で解答から、中国・東南アジアとの関係を考えさせる。
- ・離島が多いことがどのような影響をおよぼすかを考えさせる。
- ・沖縄にくる観光客の国籍を考えさせる。
- ・海外から沖縄に伝わり伝統芸能・工芸になったものについて考えさせる。

以上のような内容をふまえて、資料の活用と調査の方法を学習させ、郷土に対する認識を深ませる。



帝国書院『中学校社会科地図（初訂版）』p.63

### 2 地域調査での導入部分で使う

	教師の活動	生徒の活動	留意点
導入	地図帳のp.63を見て沖縄県の土地利用について気づいたことを発表しましょう。	・森林が多い。 ・軍用地が多い。 ・森林は北部に集中している。 ・どこで何が作られているかがわかる。 ・どこにどのような動物がいるのかがわかる。	・生徒が地図からどれだけの情報を読み取れるか試してみる。

★生徒から気づいたことを引き出して、調査のテーマ設定に役立たせる。

### 3 教師から問題を提起し、地図を利用させる

(1) 沖縄本島の約47%は森林ですが、どのようなところに集中していますか。

(2) 沖縄本島の約19%は軍関係の施設ですが、どのようなところに集中しているか確認しましょう。